

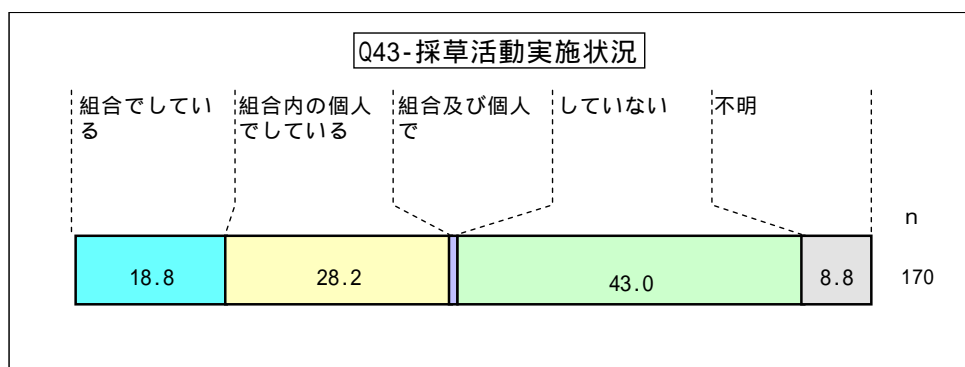
## 9. 採草と草資源の利用状況

### (1) 採草状況

採草の実施状況については、「牧野組合単位で採草をしている」牧野組合が18.8%、「組合内の個人でしている」が28.2%であり、採草をしている牧野組合は計48.2%（82組合）である。一方、採草を「していない」牧野組合も43.0%と4割以上に上る。

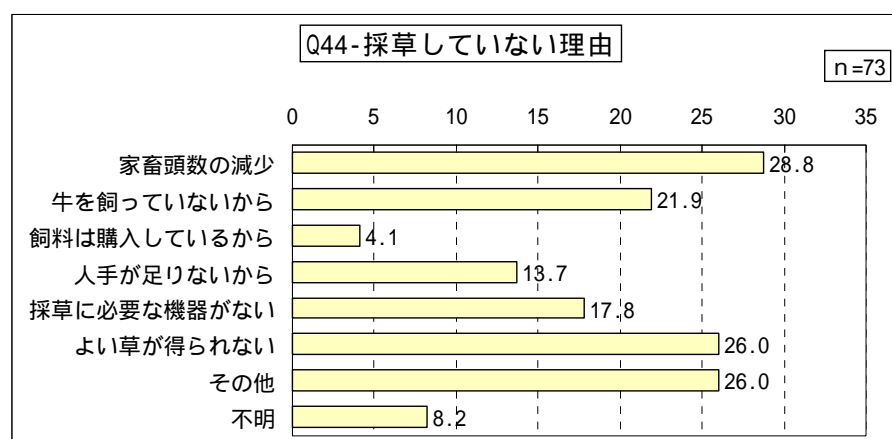
採草を「していない」73牧野組合を対象として、採草をしていない理由を聞いた結果、「家畜頭数の減少」が28.8%で最も多く、次いで「良い草が得られない」（26.0%）、「牛を飼っていない」（21.9%）、「採草に必要な機械がない」（17.8%）などが挙げられている。

問43 貴牧野では採草をしていますか。



問43 採草活動実施状況

No.	カテゴリー名	牧野数	%
1	組合でしている	32	18.8
2	組合内の個人でしている	48	28.2
3	組合及び個人でしている	2	1.2
4	していない	73	43.0
	不明	15	8.8
	全体	170	100.0



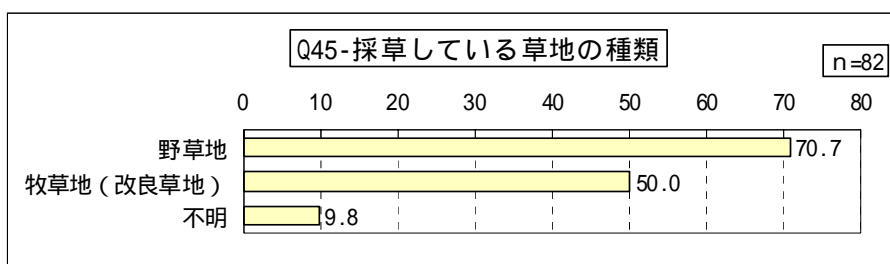
(2) 採草地の種類と面積

採草している 82 組合について、採草している草地の種類をみると、野草地で採草している牧野組合が 70.7% と多く、牧草地（改良草地）で採草している牧野組合が 50.0% である。

野草地の採草面積は回答組合全体で 1,741ha、牧草採草面積は 1,289ha である。

（なお野草採草地の内訳は後述する）

問 45 採草している草地の種類



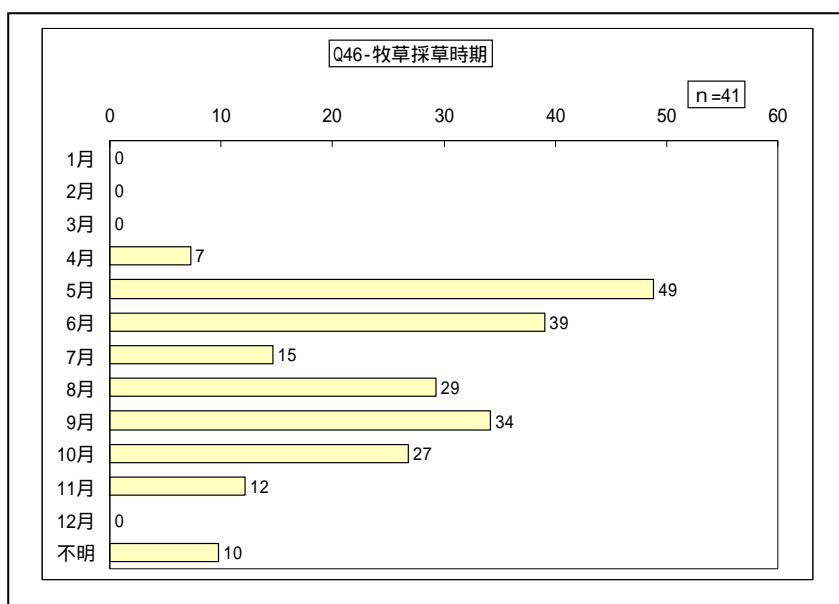
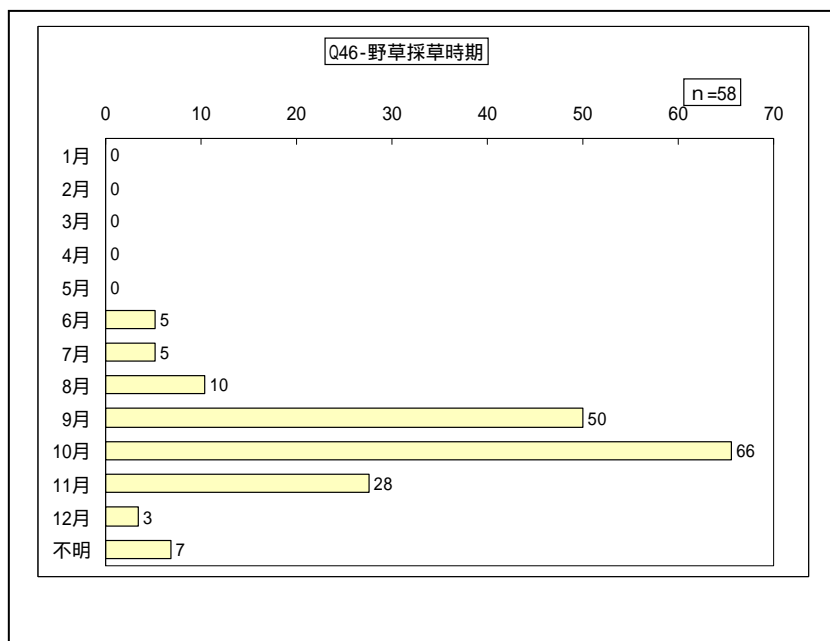
問 45 採草している草地の種類

No.	草地種別	採草組合数	採草面積回答組合数	採草面積( ha )
1	野草	58	54	1,741
2	牧草	41	38	1,289

### (3) 採草時期

野草を採草している 58 組合について、野草の採草時期をみると、彼岸過ぎの 9 月～10 月が最も多い。小数ではあるが早刈りをしている牧野組合もみられる。

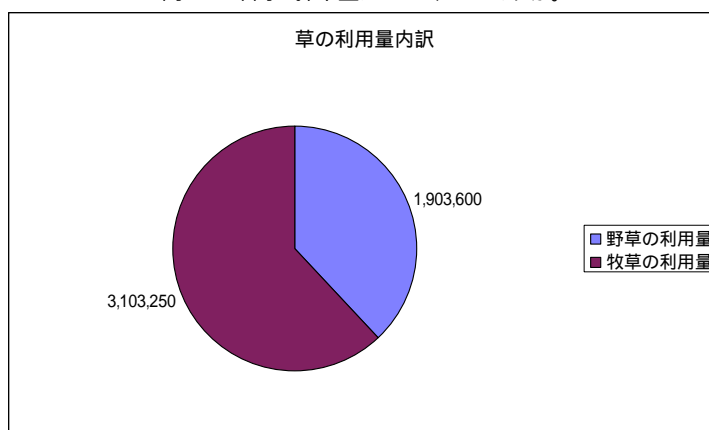
一方、牧草を採草している 41 組合の牧草の採草時期としては、1 番草の刈り取り（5 月～6 月）が最も多く、続いて 9 月前後と分かれています。



(4) 採草量

牧野内では把握できているだけでも、合計で約1,900トン以上の野草収穫量があり、また約3,000トン以上の牧草の収穫量がある。1牧野組合当たりの平均採草量は、野草が約64トン、牧草は約107トンであり、牧草の方が採草量が多くなっている。

問 47 年間の採草量はどのくらいですか。



問 47 年間の採草量はどのくらいですか。

草地種別	採草組合数	採草量回答組合数	採草量合計 (kg)	1組合平均採草量(kg)
野草	58	30	1,918,600	63,953
牧草	41	29	3,103,250	107,009

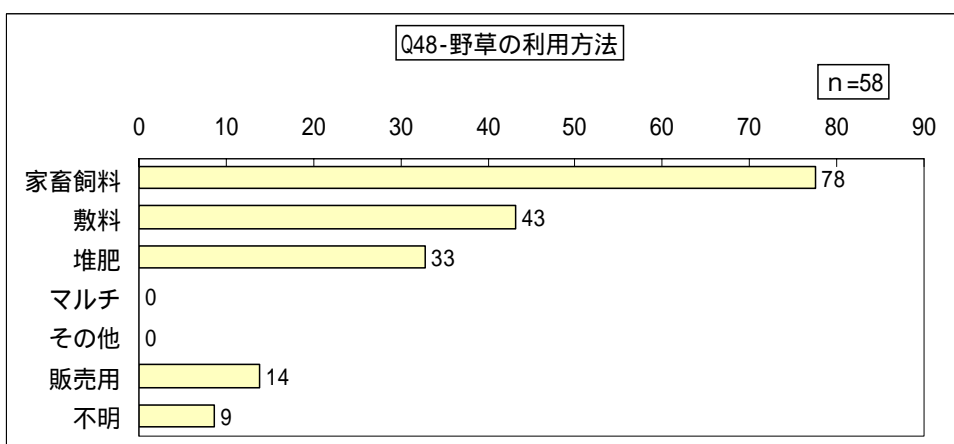
## (5) 草の利用方法

### 1) 野草の利用について

#### 利用方法

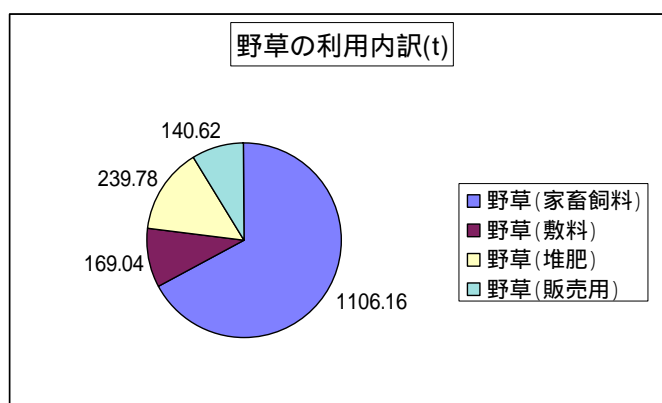
野草の利用方法として最も多い回答は家畜飼料で全体の約8割(77.6%)あり、次いで敷料(43.1%)、堆肥(32.8%)となる。販売用と答えている組合も1割強(13.9%)ある。

問 48 採草した草はどのように利用されていますか。



#### 利用量内訳

利用方法別の利用量が判明した牧野組合における野草の利用量をみると、家畜飼料が1,106トンと最も多い。次に多いのは販売用の野草であり約140トンが販売用に収穫されている。堆肥利用が239トン、敷料としての利用が最も少なく169トンである。



問 48 野草の利用内訳

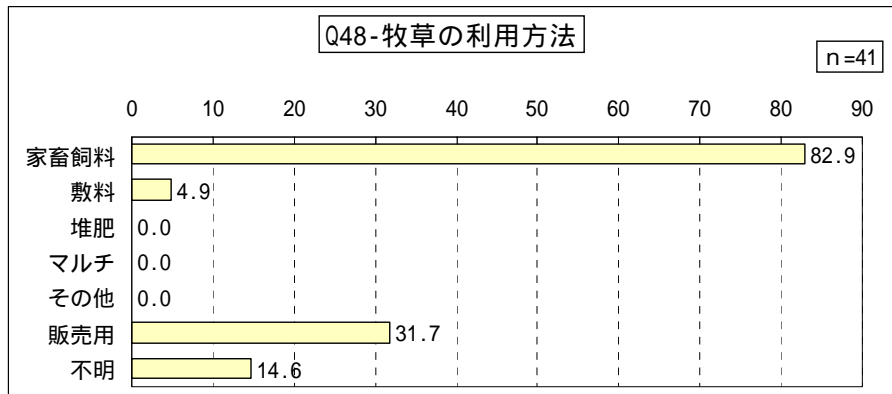
No.	利用方法	利用組合数	利用量回答組合数	利用量合計(kg)
1	家畜飼料	45	20	1,106,160
2	敷料	25	10	169,040
3	堆肥	19	8	239,780
6	販売用	8	2	140,620

## 2) 牧草

### 利用方法

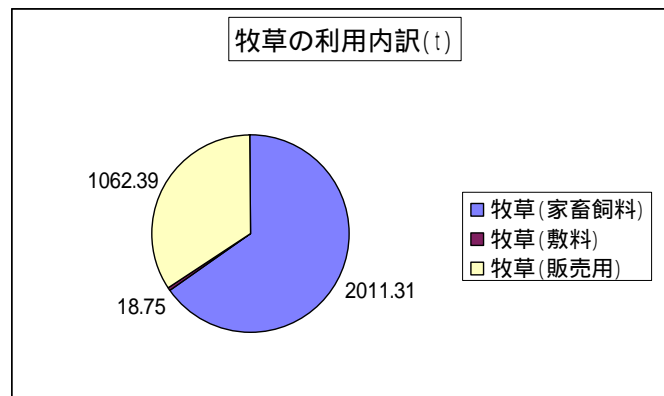
牧草の利用法としては、家畜飼料とするのがほとんど（82.9%）である。また、販売用としている組合も3割程度（31.7%）ある。

問 48 採草した牧草はどのように利用していますか。



### 利用量内訳

利用方法別の利用量が判明した牧野組合における牧草の利用量をみると、家畜飼料として利用されているのは約 2,000 トンであり、次に販売用が約 1,000 トン、わずかではあるが敷料としての利用が約 18 トンである。



牧草を利用している牧野数

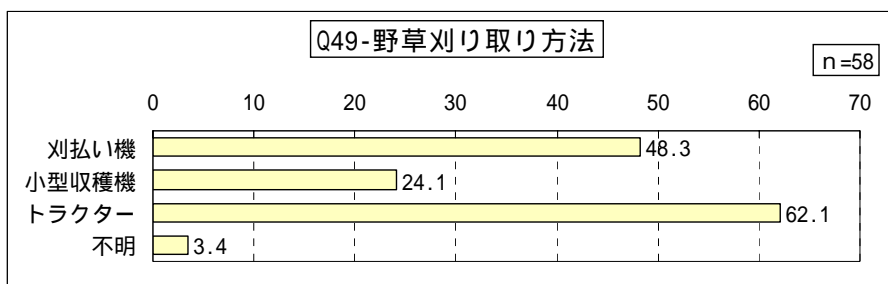
No.	利用方法	利用組合数	利用量回答組合数	利用量合計(kg)
1	家畜飼料	34	28	2,011,310
2	敷料	2	1	18,750
6	販売用	13	8	1,073,190

### (6) 草の刈り取り方法

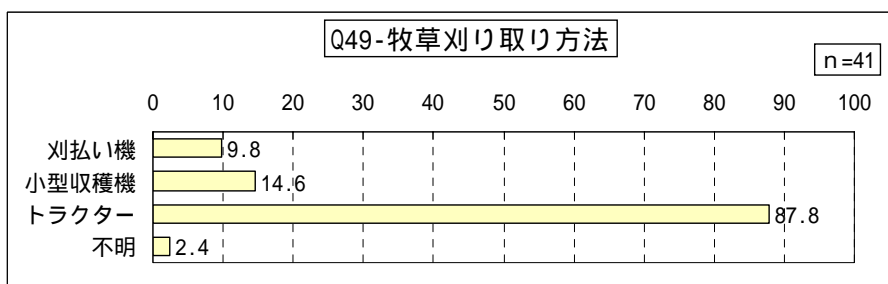
野草の刈り取り方法としては、トラクターが最も多い(62.1%)が、約半数(48.3%)の牧野組合が刈払い機を利用すると答えている。牧草地と比べると、野草地は大型の機械が利用しにくい場所に多いことが伺える。

牧草の刈り取り方法としてはトラクターを利用するのがほとんどで(87.8%)、刈払い機や小型収穫機を利用する人は少ない。

問 49 野草刈り取り方



問 49 牧草刈り取り方



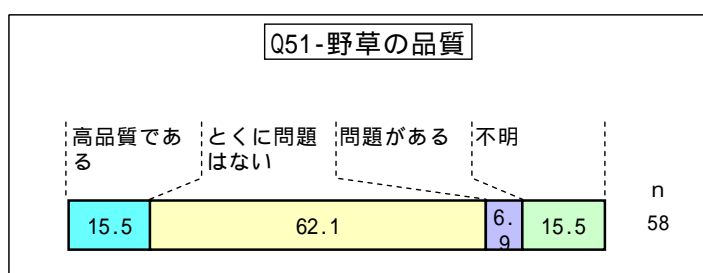
(7) 草の品質

1) 野草の品質

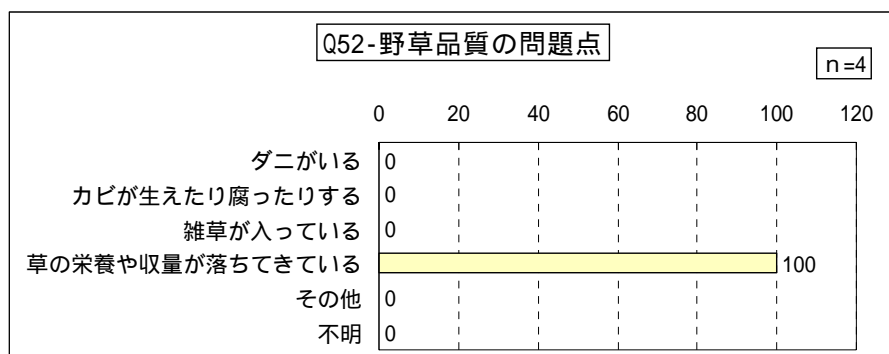
野草の品質については、「高品質である」とする牧野組合が15.5%、「特に問題はない」とする牧野組合が62.1%であり、両者を合わせると約8割(77.6%)になる。「問題がある」とする牧野組合は6.9%(4組合)とわずかである。

「問題がある」とする4牧野組合が挙げた問題点は、すべて「草の栄養や収量が落ちてきている」ことである。

問51 採草した野草の品質について当てはまるものに丸をつけてください。



問52 野草の品質についてどんな問題がありますか。



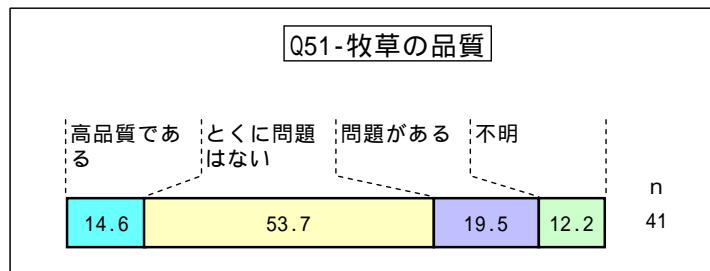


## 2) 牧草の品質

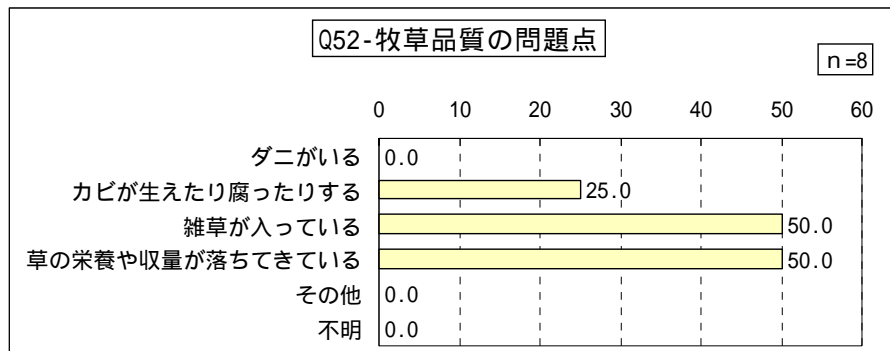
牧草の品質としては、「高品質である」とする牧野組合が14.6%、「特に問題がない」とする牧野組合が53.7%であり、両者を合わせると全体の約7割(68.3%)になる。一方、「問題がある」とする牧野組合は19.5%(8組合)で、野草に比べるとやや多い。

「問題がある」とする牧草組合が挙げた品質の問題点については、「雑草が入ってきている」(4組合)、「草の栄養や収量が落ちてきている」(4組合)、「カビが生えたり腐ったりする」(2組合)となっている。

問 51 採草した牧草の品質について当てはまるものに丸をつけてください。



問 52 牧草の品質についてどんな問題がありますか。

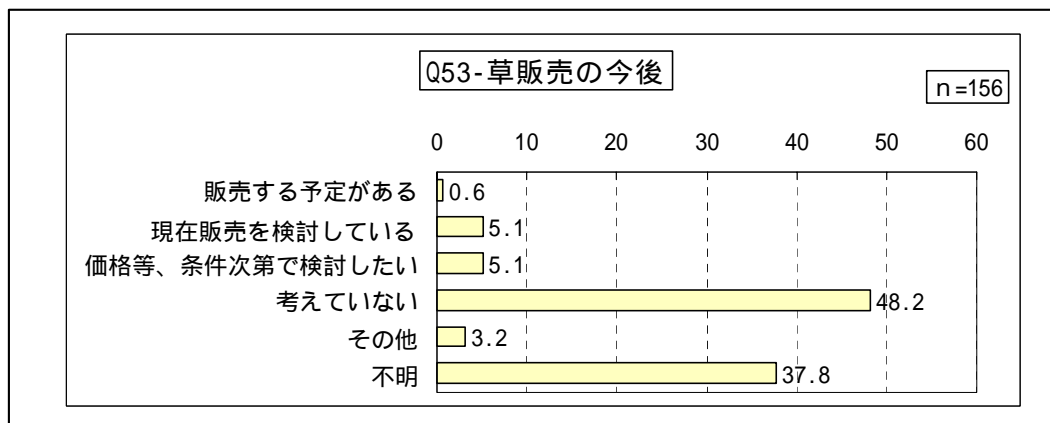


(8) 草の販売

今後の草の販売については、「考えていない」と答えた牧野組合が全体の約半数(48%)を占める。

「販売する予定がある」(0.6%)、「販売を検討している」(5.1%)、「価格・条件次第で検討したい」(5.1%)とした牧野組合の合計は全体の約1割(10.8%)である。

問 53 現在草を販売していない場合、今後販売予定はありますか。

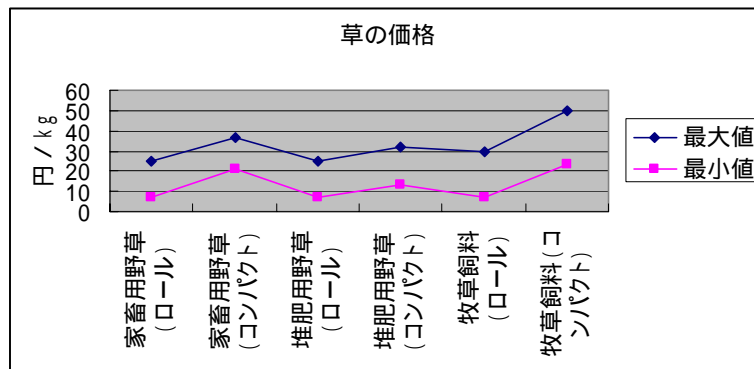


「販売する予定がある」と回答した牧野組合は1組合、「販売を検討している」と回答した牧野組合は8組合、「価格・条件次第で検討したい」と回答した牧野組合は8組合であり、その内訳は下表のとおりである。

内容	町村名	組合名
販売する予定がある	高森町	目細牧野組合
販売を検討している	一の宮町	中荻の草牧野組合
	阿蘇町	農事組合法人新宮牧場
		農事組合法人山田東部牧場
	南小国町	下山鳥川牧野組合
		山鳥川牧野組合
	高森町	中央牧野
中原牧野組合		
白水村	祭場牧野組合	
価格・条件次第で検討	一の宮町	大塩牧場
	阿蘇町	的石原野管理組合
	南小国町	菰田牧野組合
	小国町	黒川牧野管理組合
		星和部落
	産山村	タケハゲ牧野組合
	白水村	上在牧野組合
	久木野村	戸狩牧野組合

### (9) 草の価格

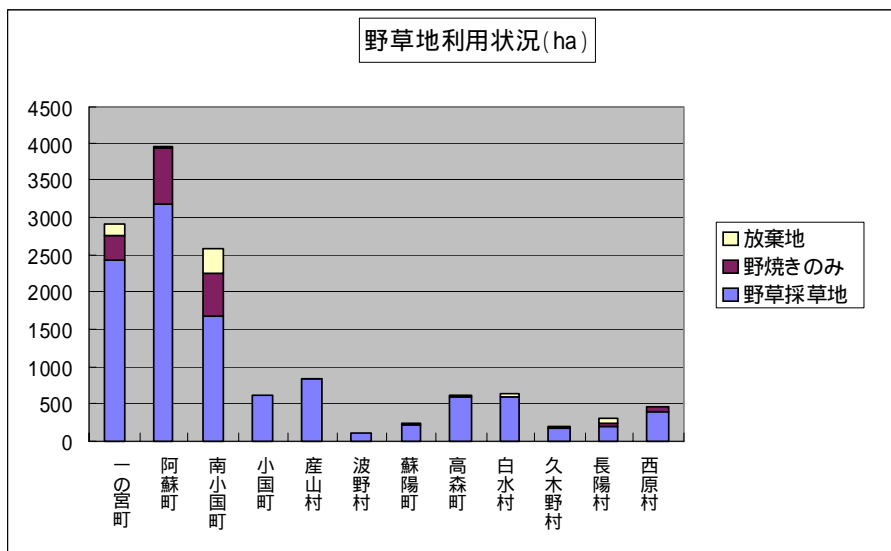
サンプル数が少ないがため平均価格はあまり参考にならないと思われるが、草を販売している組合から回答のあった野草の販売価格を示すと、家畜用のロールは最高で1キロあたり25円、家畜用のコンパクトは最高で1キロあたり36円、野草堆肥ロールは25円、野草堆肥コンパクトは31円であった。牧草については、最高で家畜飼料ロールは30円、コンパクトでは50円であった。



(10) まとめ

牧野組合アンケート調査のまとめとして、地域別等の観点から草の利用状況等について整理すると次のとおりとなる。

1) 採草地と非利用地について

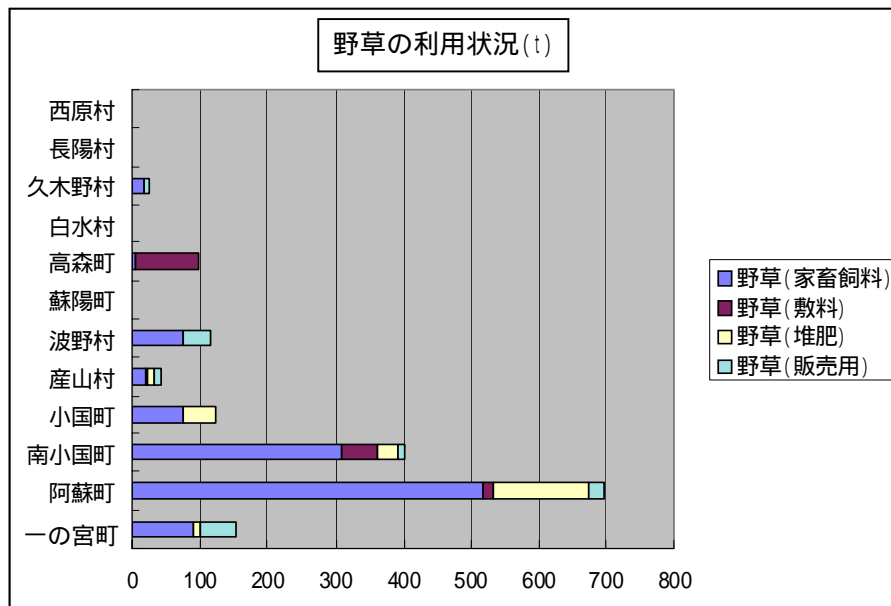


町村名	野草地・利用地(ha)		野草地・非利用地(ha)	
	野草放牧地	野草採草地	野焼きのみ	放棄地
一の宮町	2,436	178	324	169
阿蘇町	3,191	811	748	10
南小国町	1,677	483	582	327
小国町	612	42	3	6
産山村	818	53	20	3
波野村	104.5	44.5	0	6
蘇陽町	206.5	0.5	2	32
高森町	588	39	0	34
白水村	597	5	0	40
久木野村	166	10	13	0
長陽村	188	20	60	60
西原村	395	55	64	0
計	10,979	1,741	1,816	687

- 現在の野草の採草地面積は1,741haである。また、現在野焼きのみ行っている面積は1,816ha、完全に放置されている面積は687haであり、非利用地としての合計では2,503haとなり、現在の採草地面積を上回っている。
- これを地域別で見ると上表のとおりとなり、野焼きのみしている面積が一番大きいのは阿蘇町の748ha、放棄地の面積が一番大きいのは南小国町の327haである。野草地非利用地の合計では、南小国町、阿蘇町、一の宮町の順に多くなる。

野草採草面積は、回答されたもののみ加算したものであり、参考値である。

## 2) 野草の利用等の状況について

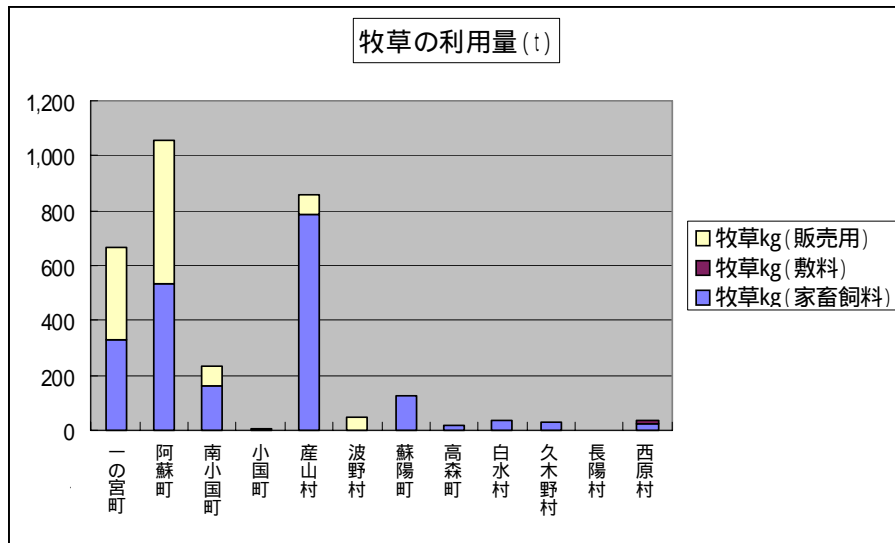


(千口)

地域名	野草 (家畜飼料)	野草 (敷料)	野草 (堆肥)	野草 (販売用)	合計
一の宮町	90,900	0	10,100	51,500	152,500
阿蘇町	518,460	15,000	140,000	23,040	696,500
南小国町	307,820	53,820	31,960	7,000	400,600
小国町	73,800	1,200	48,000	0	123,000
産山村	19,880	2,520	9,720	11,880	44,000
波野村	73,500	1,500	0	40,000	115,000
蘇陽町	0	3,000	0	0	3,000
高森町	5,000	91,000	0	0	96,000
白水村	0	1,000	0	0	1,000
久木野村	16,800	0	0	7,200	24,000
長陽村	0	0	0	0	0
西原村	0	0	0	0	0
合計	1,106,160	169,040	239,780	140,620	1,655,600

- ・ 以上のとおり、地域別に野草の利用が多いのは阿蘇町(約700トン)、南小国町(約400トン)、それ以外の地域では100トン前後か、それ以下である。
- ・ 利用内訳をみると家畜飼料および堆肥用として利用量が多いのが阿蘇町(518トン及び140トン)であり、敷料として一番多いのが高森町(91トン)、販売用野草として多いのは一の宮町(52トン)や波野村(40トン)である。

### 3) 牧草の利用等の状況について

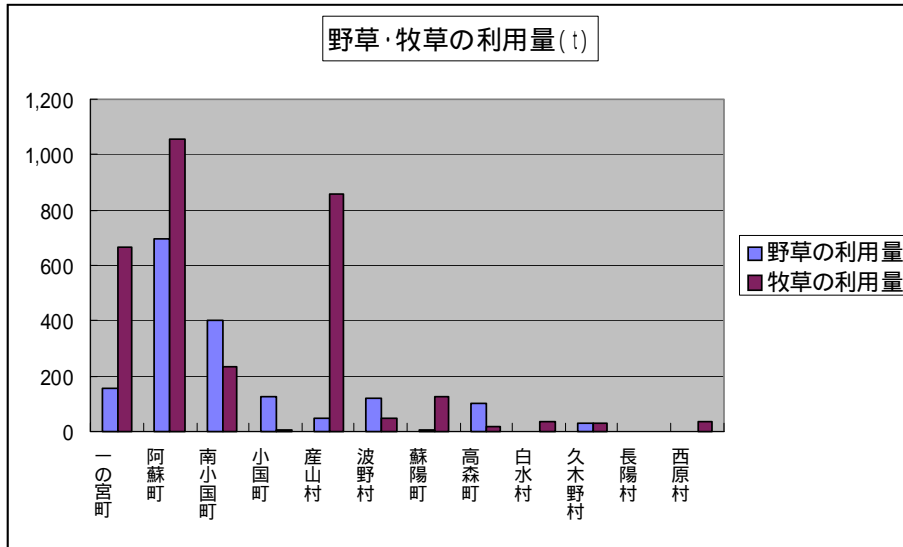


- ・ 牧草の利用状況として利用量が一番多いのは阿蘇町であり（1,055 トン）、産山村（860 トン）、一の宮町（667 トン）が続く。

地域名	牧草 (家畜飼料)	牧草 (敷料)	牧草 (販売用)	合計
一の宮町	324,150	0	342,350	666,500
阿蘇町	536,100	0	518,400	1,054,500
南小国町	158,560	0	77,440	236,000
小国町	3,000	0	0	3,000
産山村	780,800	0	79,200	860,000
波野村	0	0	45,000	45,000
蘇陽町	120,000	0	0	120,000
高森町	14,750	0	0	14,750
白水村	30,000	0	0	30,000
久木野村	25,200	0	0	25,200
長陽村	0	0	0	0
西原村	18,750	18,750	0	37,500
合計	2,011,310	18,750	1,062,390	3,092,450

#### 4) 野草と牧草の利用状況比較

上記の野草と牧草の利用等の状況を一つのグラフで表すと次のとおりとなる。



(参考) 町村別牧野組合別野草採草面積 (単位: ha)

町村名	牧野名	採草面積
一の宮町	第2育成牧野組合	32
	大塩牧場	15
	農事法人一区牧野組合	90
	泉牧野組合	10
	上荻の草	3
	7区牧野組合	3
	土井牧野組合	25
阿蘇町	山田中部牧野組合	280
	西湯浦牧野組合	50
	狩尾牧野組合	2
	農事組合法人湯浦牧場	100
	農事組合法人新宮牧場	80
	山田西部牧野組合	100
	農事組合法人山田東部牧場	50
	二三五区牧野組合	15
	跡ヶ瀬牧野組合	20
	的石原野管理組合	10
	赤水牧野組合	100
	本塚七部落組合	4
	南小国町	下ノ道採草組合
扇牧野組合		150
農事組合法人湯田組合		20
動馬喜裏牧野組合		2
上中原財産組合		15
白川部落		10
山鳥川牧野組合		50
波居原牧野組合		100
馬場牧野組合		3
樋の口牧野組合		5
下中原牧野組合		50
吉原自治会		4
中湯田牧野組合		2
慈門坊牧野組合		70
南小国町		唐谷牧野組合
	名原・大鶴牧野組合	20
	鉾平牧野	2



町村名	牧野名	採草面積
産山村	下平川牧野組合	30
	南田尻牧野組合	3
	下田尻牧野組合	20
波野村	竜神牧野組合	3.5
	農事組合法人笹倉牧野組合	40
	萩岳牧野組合	1
蘇陽町	柳谷牧野組合	0.5
高森町	冬野牧野組合	10
	中原牧野組合	6
	祭場牧野組合	20
	小倉原牧野組合	3
白水村	白川牧野組合	5
久木野村	柿野山田牧野組合	10
長陽村	長野牧野農業協同組合	10
	瀬田立野農業協同組合	10
西原村	小森牧野組合	20
	出ノ口牧野組合	5
	鳥子地区	30